

人事案件

監査委員の選任(賛成・全員)



住所 大豊町
中村大王720番地
氏名 佐竹 範久
さたけ のりひさ

挨拶

平成25年6月22日に選任されてから、1期4年が終了いたしますが、その間、先輩監査委員であります前野議員、各課の職員等多くの方々の協力を得て、4年間を全うすることができ、ありがとうございます。再任といふことになり、監査委員の重責に耐えられるかどうか不安なところもございますが、皆様のご指導と鞭撻をいただきながら、頑張りたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

人権擁護委員候補者の推薦(賛成・全員)



住所 大豊町
高須430番地11
氏名 小川 洋子
おがわ よよこ



住所 大豊町
黒石70番地1
氏名 西谷 美代
にしだに みよ

町政を問う (一般質問)

Q1

問 梶ヶ森周辺の整備を
答 検討していく



三谷幸一郎 議員

山荘梶ヶ森も、新たな指定管理者が決定したとの報道に安堵された町民の皆さんも多かったのではないのでしょうか。本町観光のシンボリックな存在だが、梶ヶ森へ向かう道路は至る所にくぼみがあり整備を要する箇所が多

くある。中年代や若い女性の山ブームでもあり、早期の整備が必要ではないか。また、山頂にある鳥瞰図(ちようかんず)は山愛好家にはとても嬉しい周辺の山々等の案内図であるが、



梶ヶ森山頂の鳥瞰図

数年前より劣化が酷く役目を果たしていない。四国でも眺望のいい山として知られている梶ヶ森の早期のリニューアルを求めます。

▽岩崎憲郎町長

町道等の整備については、約514kmの道路を管理する中、全て同じ水準はなかなか難しいが、利用の状況等に応じた維持、

Q2

問 「福寿草まつり」の再開願う
答 地元を基本に考える

整備を今後とも進めていく。指摘のあった箇所に限らず危険箇所等、気づいたら担当に連絡を願う。

い。また、鳥瞰図のリニューアルについては、指定管理者を交えて検討していく。

▽三谷幸一郎議員

長期にわたり開催されてきた「福寿草まつり」が地元皆さんの高齢化等により、苦渋の決断で惜しまれながら中止となってしまった。中止となつていかに本町を代表するイベントであつたかを感じ知らされたのではないか。町内外から再開を望む声は多い。地元皆さんの意向を重視しながら、西日本高速道路エ

▽岩崎憲郎町長

地元の方にとって、年間を通じて福寿草を管理しており、単にイベント開催時だけの問題ではない。地元皆さんの様々な事情を考慮し、あくまでも地元皆さんの意向を基本に考えなければいけない。



福寿草

Q3

問 町道の側溝の形状の見直しを
答 原型復旧が基本である

▽三谷幸一郎議員

平成26年8月、降雨量2,000mm余りの想定外豪雨での大災害は、ほとんどの災害箇所が復旧したが、町道については、側溝の形状が災害前と同様形状となつている箇所があり「なぜ三角側溝にしなかつたのか」との声を聞く、町道の清掃作業等は地元の皆さんが行う所も多く、少子高齢化が著しく清掃作業は年々重労働となつている。町道の側溝を三角側溝にすることに作業がスムーズになり、重労働は軽減され作業時間も短縮できる。また、道路を少しでも広く使用することにより狭い道での対向がしやすく、脱輪などの危険も無くなり高齢ドライバーに



災害復旧現場

は喜ばれるのではないかと、できる限り三角側溝にしてはどうか。

▽岩崎憲郎町長

災害復旧工事は、原型復旧が基本であり、改良等原形を変更すると採択を受けられない現実がある。そういう状況の中で災害復旧工事を行ってきた。また、道路管理は、災害等に強いインフラを基本として、今後の整備を進めて行く。

Q4

問 期日前投票について問う
答 努力していく

▽三谷幸一郎議員

住民の方より「本来、期日前投票は、不便な地区を救済するための制度ではないのか」との声がある。国民の権利である参政権を行使したくとも、遠方や高齢等により行使できない現状にあり大きな問題である。国民の権利を行使できるよ



石川靖朗 選挙管理委員長

本町も巡回による投票ができるよう再考されたい。

本来選挙制度において、投票は投票日当日決められた投票所に有権者自らが

出向いて、自らが1票を投ずることが基本である。しかし何らかの理由で投票日当日投票所に行くことができない人たちの救済する目的で、期日前投票所が開設実施されている。大田口に1力所と、農工センターと、町内2力所に期日前投票所を開設実施しているが、投票所が遠く不便な方々や、高



期日前投票

Q5

問 民泊戸数拡大について問う
答 取り組みを続ける

▽三谷幸一郎議員

本年4月25日にいほく民泊推進協議会連合会が約80戸でスタートした。本町は約40戸で数年前から増えていないのが現状であり、70戸を目標としているが、どのようにして戸数を増やし民泊事業を拡大するの

か。



農家民泊

りの方々の直接の利便に結びついてはいない。しかし期日前投票には一定の効果があり、1回の選挙で投票者総数も600人余りとなり、投票者全体の総数の約30%を超えるほどになっている。投票所に遠

い地区の方々を対象に投票所巡回バスの運行等については、全国で何箇所か実施した事例が報告されており、期日前巡回バス投票所運営の実態を研修し、1日も早く実現するよう努力していく。

▽三谷幸一郎議員

本年4月25日にいほく民泊推進協議会連合会が約80戸でスタートした。本町は約40戸で数年前から増えていないのが現状であり、70戸を目標としているが、どのようにして戸数を増やし民泊事業を拡大するの

か。

▽岩崎憲郎町長

新しく始める方もいるが、諸事情でやめら



農家民泊